

2021年度以降入学生

| | |
|-------------------------|------|
| 1. 日本語教員を目指すあなたに必要なことは？ | 11-2 |
| 1.1 「日本語教員」になるための養成課程とは | 11-2 |
| 1.2 現在の日本語教員資格の状況は | 11-2 |
| 1.3 日本語教員養成課程を履修するためには | 11-2 |
| 1.4 教育実習参加条件について | 11-2 |
| 1.5 履修上の留意点 | 11-2 |
| 1.6 4年間のスケジュールと学年ごとの課題 | 11-3 |
| 1.7 修了証 | 11-4 |
| 2. 日本語教員養成課程 開講科目表 | 11-5 |

2020年度以前入学生

| | |
|-----------------------------|-------|
| 1. 日本語教員を目指すあなたに必要なことは？ | 11-6 |
| 1.1 「日本語教員」になるための養成課程とは | 11-6 |
| 1.2 現在の日本語教員資格の状況は | 11-6 |
| 1.3 日本語教員養成課程の主専攻・副専攻とは | 11-6 |
| 1.4 日本語教員養成課程を履修するためには | 11-6 |
| 1.5 教育実習参加条件について | 11-6 |
| 1.6 履修上の留意点 | 11-6 |
| 1.7 [主専攻]4年間のスケジュールと学年ごとの課題 | 11-7 |
| [副専攻]4年間のスケジュールと学年ごとの課題 | 11-8 |
| 1.8 修了証 | 11-9 |
| 2. 日本語教員養成課程 開講科目表 | 11-10 |

1. 日本語教員を目指すあなたに必要なことは？

1.1 「日本語教員」になるための養成課程とは

日本と諸外国との交流が活発化するにつれ、さまざまな形態で日本語を学習する外国人が増加している現在、その教育を担う教師が求められています。本学では、この社会的な要請を背景として、日本語教員養成のための課程を設置しています。

1.2 現在の日本語教員資格の状況は

現在のところ、社会的に共通化した免許制度は実施されていませんが、日本語教育の知識及び能力の水準を測るための「日本語教育能力検定試験」(社団法人 日本語教育学会認定)が行われています。

本学では、毎年検定対策講座を開講し、合格のサポートをしています。

1.3 日本語教員養成課程を履修するためには

日本語教員養成課程を履修するために必要となる科目は本書「11-5」ページの表に示したとおりです。

表1の各分野を履修し、合計45単位以上を修得しなければなりません。(なお4年次で履修する「日本語教育実習(学外授業)」は卒業所要単位には含まれないので、注意してください。)

1.4 教育実習参加条件について

4年次で履修する「日本語教育実習(学外授業)」は、実際に国内外の日本語教育機関で外国人に日本語を教える実習科目です。参加するためには以下のような条件を満たす必要があります。

- ① 2年次秋学期 「日本語教育文法」を履修し、成績B以上であること。
- ② 2年次秋学期迄 漢字検定準2級(留学生は漢字検定3級)に合格していること。※合格証(コピー)教務課提出(1/31まで)
- ③ 3年次春学期迄 「日本語教育の内容と方法Ⅰ(教案作成)」を履修し、成績B以上であること。
- ④ 3年次秋学期迄 「日本語教育の内容と方法Ⅱ(模擬授業)」を履修し、成績B以上であること。
留学生は日本語能力試験N1にも合格していること。※合格証(コピー)教務課提出(1/31まで)
- ⑤ 4年次春学期 「日本語教育実習(学外実習)」を履修すること。
- ⑥ 2年次と3年次に開講される必修科目は、3年次終了までにすべて履修しておくこと。

1.5 履修上の留意点

- ①日本語教員養成課程の履修を希望する場合、開催されるガイダンスには必ず出席し、説明を聞いてから**資格申請及び履修登録**をする。
- ②課程一般に関する連絡事項は**@Kにて掲示・連絡されるので**、常時注意する。
- ③課題や書類の提出期限を守る。
- ④履修に関して不明な点があれば教務課や担当教員へ早目に相談する。
- ⑤留学を希望する場合、留学時期および期間によっては4年間で日本語教員養成課程を修了できない可能性もある。

1.6 4年間のスケジュールと学年ごとの課題

日本語教員養成課程を修了する為には、1年次から4年次までの各学年で履修すべき科目や達成すべき課題があります。

養成課程修了に向け、各学年で履修すべき科目を履修し、課題に取り組んでください。

| 学年・学期 | 主な流れ | 履修しておく科目等 | |
|---|---|--|--|
| 1年次 | 4月 日本語教員養成課程ガイダンス※1 ☞履修希望の方は、教務課へ「登録願※2」を提出する。 | (春) ・日本語教育概論 I ・言語学入門 ・日本語文法 ◎生涯就業力STEP I | (秋) ・日本語教育概論 II ・日本語学入門 ◎生涯就業力STEP II |
| | 1月 日本語教員養成課程教育実習報告会 | | |
| 2年次 | 4月 日本語教員養成課程ガイダンス | (春) ・第二言語習得 ・異文化コミュニケーション(秋でも可) ・日本語の音韻・音声 | (秋) ・社会言語学 ・教材とメディアリテラシー ・日本語教育文法* ・日本語の語彙・表記 |
| | 1月 日本語教員養成課程教育実習報告会 △漢字検定準2級(留学生は3級)以上を取得し、合格証のコピーを教務課へ提出すること。 提出期限：1/31まで | | |
| <p><3年次以降も日本語教員養成課程を履修する条件></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1、2年次配当の必修科目を履修していること(※履修漏れがあった場合は、教務課へ相談すること。) ・「日本語教育文法」を履修し、成績B以上を修めていること。 ・漢字検定準2級以上を取得し、合格証コピーを教務課へ提出していること。 | | | |
| 3年次 | 4月 日本語教員養成課程ガイダンス | (春) ・日本語教育の内容と方法 I (教案作成)* ・日本語教育演習 ・認知言語学 ・コーパス言語学 | "(秋) ・日本語教授法 ・海外インターンシップ or ・国内インターンシップ ・日本語教育の内容と方法 II (模擬授業)* |
| | 1月 日本語教員養成課程教育実習報告会 △留学生は日本語能力試験N1を取得し、合格証のコピーを教務課へ提出すること。 提出期限：1/31まで | <p>下記科目のうち、1科目を履修すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Language and Psychology in English(秋) ・社会開発論(秋) ・教育心理学(日本語教員用)(春) | |
| <p><教育実習への参加条件></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本語教育の内容と方法 I (教案作成)」を履修し、成績B以上を修めていること。 ・「日本語教育の内容と方法 II (模擬授業)」を履修し、成績B以上を修めていること。 ・漢字検定準2級(留学生は3級)以上、留学生は日本語能力試験(N1)へ合格していること。 ・1~3年配当の必修科目を全て履修済であること。 | | | |
| 4年次 | 4月~8月頃 教育実習 | (春) ・日本語教育実習(学外実習) | |
| | 1月 卒論提出 | | |
| | 2月 卒論口述試験 | | |
| | 3月 日本語教員養成課程修了証授与式 | △履修していない科目が無いか確認し、取りこぼしが無いように注意しましょう。 | |

*資格取得において必修科目であり、成績はB以上を必要とする科目

※1 日本語教員養成課程ガイダンスの開催月は前後する可能性があります。

※2 登録願は、各学期終了後に更新します。各学期終了後、教務課にて手続きしてください。

注)スケジュールは模範になります。配当年次が複数の学年に跨る科目や、上記科目以外にも履修すべき科目があります。本書「11-5ページ」の科目表を必ず確認してください。

1.7 修了証

必要な単位を修得した学生には主専攻の「修了証」が授与されます。

2. 日本語教員養成課程 開講科目表

表 I-1

【日本語教員養成課程の履修方法】

主専攻

| 区分 | 必要 単位数 | 科目名 | 担当者 | 単位数 | 開講時 限 春 秋 | 配当年次 |
|---------------------------------------|-----------|-------------------------|----------|-----|--------------------|-----------|
| 社会・文化・ 文化に関わる領域 | 4 | ○日本語教育概論Ⅰ | 川井 章弘 | 2 | 金5 | 1、2 |
| | | ○日本語教育概論Ⅱ | 川井 章弘 | 2 | 金5 | 1、2 |
| | 2 | ○社会言語学 | 川井 章弘 | 2 | 月1 | 1、2、 3 |
| | 4 | ○第二言語習得 | 栗田 奈美 | 2 | 集中 | 1、2、 3 |
| 選) 社会開発論 | | 日下部 尚徳 | 2 | 木1 | 3、4 | |
| 選) Language and Psychology in English | | 本年開講せず | 2 | | 3、4 | |
| 教育に関わる領域 | 17 | 選) 教育心理学 | Da Silva | 2 | 木4 | 3 |
| | | ○日本語教授法 | 川井 章弘 | 2 | 金2 | 3 |
| | | ○日本語教育の内容と方法Ⅰ (教案作成) | 川井 章弘 | 2 | 月1 | 3 |
| | | | 島崎 英香 | 2 | 月1 | 3 |
| | | ○日本語教育実習 (学外実習) | 志賀 里美 | 3 | 火2 | 4 |
| | | | 川井 章弘 | 3 | 火2 | 4 |
| | | 選) 海外インターンシップ | 日本語教育委員会 | 2 | | 3 |
| | | 選) 国内インターンシップ | 日本語教育委員会 | 2 | | 3 |
| | | ○日本語教育の内容と方法Ⅱ (模擬授業) | 川井 章弘 | 2 | 月3 | 3 |
| | | | 志賀 里美 | 2 | 月3 | 3 |
| ○異文化コミュニケーション | 桃井 和馬 | 2 | 金2 | 1、2 | | |
| ○教材とメディアリテラシー | 島崎 英香 | 2 | 木1 | 2 | | |
| ○日本語教育演習 | 志賀 里美 | 2 | 火4 | 3 | | |
| 言語に関わる領域 | 18 | ○言語学入門 | 栗田 奈美 | 2 | 集中 | 1 |
| | | ○日本語学入門 | 志賀 里美 | 2 | 月3 | 1、2 |
| | | ○日本語の音声・音韻 | 川井 章弘 | 2 | 月4 | 2 |
| | | ○日本語の語彙・表記 | 川井 章弘 | 2 | 火1 | 2、3 |
| | | ○日本語文法 | 栗田 奈美 | 2 | 月3 | 1 |
| | | ○日本語教育文法 | 志賀 里美 | 2 | 金4 | 2 |
| | | ○認知言語学 | 栗田 奈美 | 2 | 月3 | 3、4 |
| | | ○コーパス言語学 | 田中 弥生 | 2 | 木2 | 3、4 |
| | | ○生涯就業力STEPⅠ | 鈴木真子 | 1 | 木2 | 1 |
| ○生涯就業力STEPⅡ | 鈴木真子 | 1 | 木2 | 1 | | |
| 合計 | 45 | | | | | |

注1) ○ 必修 選) 選択必修

注2) 「日本語教育実習(学外実習)」は卒業所要単位に含まれない。

注3) 選)インターンシップは海外、国内のいずれか一方を必ず履修すること。

1. 日本語教員を目指すあなたに必要なことは？

1.1 「日本語教員」になるための養成課程とは

日本と諸外国との交流が活発化するにつれ、さまざまな形態で日本語を学習する外国人が増加している現在、その教育を担う教師が求められています。本学では、この社会的な要請を背景として、日本語教員養成のための課程を設置しています。

1.2 現在の日本語教員資格の状況は

現在のところ、社会的に共通化した免許制度は実施されていませんが、日本語教育の知識及び能力の水準を測るための「日本語教育能力検定試験」(社団法人 日本語教育学会認定)が行われています。

本学では、毎年検定対策講座を開講し、合格のサポートをしています。

1.3 日本語教員養成課程の主専攻・副専攻とは

日本語教員養成課程には主専攻と副専攻があります。

主専攻は、日本語教育を主たる専攻として履修する日本語日本文化学科の学生を対象に開設されています。副専攻は、全学科の学生が対象です。

1.4 日本語教員養成課程を履修するためには

日本語教員養成課程を履修するために必要となる科目は本書「11-10・11-11」ページの表に示したとおりです。

主専攻を希望する場合には、表Ⅰの各分野を履修し、合計46単位以上を修得しなければなりません。また副専攻を希望する場合には、表Ⅱの各分野を履修し、合計28単位以上を修得しなければなりません。(なお4年次で履修する「日本語教育実習Ⅰ、Ⅱ」は卒業所要単位には含まれないので、注意してください。)

1.5 教育実習参加条件について

4年次で履修する「日本語教育実習Ⅱ」は、実際に国内外の日本語教育機関で外国人に日本語を教える実習科目です。参加するためには以下のような条件を満たす必要があります。

- ① 2年次秋学期 「日本語学Ⅲ(文型・文法)」成績B以上であること。
- ② 3年次秋学期迄
 - ・漢字検定準2級(留学生は漢字検定3級)に合格していること。※合格証(コピー)教務課提出(1/31まで)
 - ・留学生は日本語能力試験N1にも合格していること。※合格証(コピー)教務課提出(1/31まで)
 - ・「日本語教授法C(教案作成)」成績B以上であること。
- ③ 4年次春学期 「日本語教育実習Ⅰ(模擬授業)」成績B以上であること。
- ④ 2年次と3年次に開講される必修科目は、3年次終了までにすべて履修しておくこと。

1.6 履修上の留意点

- ①日本語教員養成課程の履修を希望する場合、開催されるガイダンスには必ず出席し、説明を聞いてから**資格申請及び履修登録**をする。
- ②課程一般に関する連絡事項は@Kにて**掲示・連絡されるので**、常時注意する。
- ③課題や書類の提出期限を守る。
- ④履修に関して不明な点があれば教務課や担当教員へ早目に相談する。

1.7 【主専攻】4年間のスケジュールと学年ごとの課題

以下スケジュールは、日本語教員養成課程(主専攻)を修了する為の4年間のスケジュールをまとめたものです。日本語教員養成課程を修了する為には、1年次から4年次までの各学年で履修すべき科目や達成すべき課題があります。養成課程修了に向け、各学年で履修すべき科目を履修し、課題に取り組んでください。

| 学年・学期 | 主な流れ | 履修しておく科目等 | | |
|---|---------|---|--|---|
| 1年次 | 4月 | 日本語教員養成課程ガイダンス※1 ☞履修希望の方は、教務課へ「登録願※2」を提出する。 | (春) ・言語学入門Ⅰ(開講せず) | (秋) ・言語学入門Ⅱ(開講せず) ・日本語学入門 |
| | 1月 | 日本語教員養成課程教育実習報告会 | | |
| 2年次 | 4月 | 日本語教員養成課程ガイダンス | (春) | (秋) |
| | 1月 | 日本語教員養成課程教育実習報告会 △漢字検定準2級(留学生は3級)以上を取得し、合格証のコピーを教務課へ提出すること。 提出期限：1/31まで | ・日本語教育概論Ⅰ ・日本語文法Ⅰ ・日本語学Ⅰ(語彙・表記) ・第二言語習得Ⅰ | ・日本語教育概論Ⅱ ・日本語文法Ⅱ(開講せず) ・日本語学Ⅲ(文法・文型)* (開講せず) |
| <p><3年次以降も日本語教員養成課程を履修する条件></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1、2年次配当の必修科目を履修していること(※履修漏れがあった場合は、教務課へ相談すること。) ・「日本語学Ⅲ」を履修し、成績B以上を修めていること。 ・漢字検定準2級以上を取得し、合格証コピーを教務課へ提出していること。 | | | | |
| 3年次 | 4月 | 日本語教員養成課程ガイダンス | (春) | (秋) |
| | 1月 | 日本語教員養成課程教育実習報告会 △留学生は日本語能力試験N1を取得し、合格証のコピーを教務課へ提出すること。 提出期限：1/31まで | ・日本語教授法Ⅰ (文法・文型教育) (開講せず) ・日本語学Ⅱ(音声・音韻) ・認知言語学 | ・日本語教授法特講 ・日本語教授法Ⅱ (教材・教具/評価論) ・日本語教授法Ⅲ(教案作成)* (開講せず) ・日本語学Ⅳ(言語行動) (開講せず) |
| <p><教育実習への参加条件></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本語教授法Ⅲ(教案作成)」を履修し、成績B以上を修めていること。 ・「日本語教育実習Ⅰ(模擬授業)」を履修し、成績B以上を修めていること。 ・漢字検定準2級(留学生は3級)以上、留学生は日本語能力試験(N1)へ合格していること。 ・1~3年配当の必修科目を全て履修済であること。 | | | | |
| 4年次 | 9月~12月頃 | 教育実習 | (春) | (秋) |
| | 12月2月 | 卒論提出 卒論口述試験 | ・日本語教育実習Ⅰ (模擬授業)* | ・日本語教育実習Ⅱ (学外実習) |
| | 3月 | 日本語教員養成課程修了証授与式 | △履修していない科目が無いが確認し、取りこぼしが無いように注意しましょう | |

*資格取得において必修科目であり、成績はB以上を必要とする科目

※1 日本語教員養成課程ガイダンスの開催月は前後する可能性があります。



※2 登録願は、各学期終了後に更新します。各学期終了後、教務課にて手続きしてください。

注)スケジュールは模範になります。配当年次が複数の学年に跨る科目や、上記科目以外にも履修すべき科目があります。本書「11-10ページ」の科目表を必ず確認してください。

1.7 (副専攻) 4年間のスケジュールと学年ごとの課題

以下スケジュールは、日本語教員養成課程(副専攻)を修了する為の4年間のスケジュールをまとめたものです。日本語教員養成課程を修了する為には、1年次から4年次までの各学年で履修すべき科目や達成すべき課題があります。

養成課程修了に向け、各学年で履修すべき科目を履修し、課題に取り組んでください。

| 学年・学期 | 主な流れ | 履修しておく科目等 | | |
|--|---------|---|--|---|
| 1年次 | 4月 | 日本語教員養成課程ガイダンス※1 ↳履修希望の方は、教務課へ「登録願※2」を提出する。 | (春) ・言語学入門Ⅰ(開講せず) | (秋) ・日本語学入門 |
| | 1月 | 日本語教員養成課程教育実習報告会 | | |
| 2年次 | 4月 | 日本語教員養成課程ガイダンス | (春) ・日本語教育概論Ⅰ | (秋) ・日本語教育概論Ⅱ |
| | 1月 | 日本語教員養成課程教育実習報告会 △漢字検定準2級(留学生は3級)以上を取得し、合格証のコピーを教務課へ提出すること。 提出期限：1/31まで | ・日本語文法Ⅰ ・第二言語習得Ⅰ ・日本語学Ⅰ(選) | ・日本語学Ⅲ(文法・文型)* (開講せず) ・日本語文法Ⅱ(選) (開講せず) |
|  <p><3年次以降も日本語教員養成課程を履修する条件> ・1、2年次配当の必修科目を履修していること(※履修漏れがあった場合は、教務課へ相談すること)。 ・『日本語学Ⅲ』を履修し、成績B以上を修めていること。 ・漢字検定準2級以上を取得し、合格証コピーを教務課へ提出していること。</p> | | | | |
| 3年次 | 4月 | 日本語教員養成課程ガイダンス | (春) ・日本語教授法Ⅰ (文法・文型教育) (開講せず) | (秋) ・日本語教授法Ⅱ (教材・教具/評価論) ・日本語教授法Ⅲ(教案作成)* (開講せず) |
| | 1月 | 日本語教員養成課程教育実習報告会 △留学生は日本語能力試験N1を取得し、合格証のコピーを教務課へ提出すること。 提出期限：1/31まで | ・日本語学Ⅱ(選) | ・日本語学Ⅳ(選) (開講せず) |
|  <p><教育実習への参加条件> ・『日本語教育教授法Ⅲ(教案作成)』を履修し、成績B以上を修めていること。 ・『日本語教育実習Ⅰ(模擬授業)』を履修し、成績B以上を修めていること。 ・漢字検定準2級(留学生は3級)以上、留学生は日本語能力試験(N1)へ合格していること。 ・1～3年次配当の必修科目を全て履修済であること。</p> | | | | |
| 4年次 | 9月～12月頃 | 教育実習 | (春) ・日本語教育実習Ⅰ (模擬授業)* | (秋) ・日本語教育実習Ⅱ (学外実習) |
| | 12月 | 卒論提出 | △履修していない科目が無いか確認し、取りこぼしが無いように注意しましょう。 | |
| | 2月 | 卒論口述試験 | | |
| | 3月 | 日本語教員養成課程修了証授与式 | | |

*資格取得において必修科目であり、成績はB以上を必要とする科目(選)の付いた科目より1科目選択

※1 日本語教員養成課程ガイダンスの開催月は前後する可能性があります。

※2 登録願は、各学期終了後に更新します。各学期終了後、教務課にて手続きしてください。

注)スケジュールは模範になります。配当年次が複数の学年に跨る科目や、上記科目以外にも履修すべき科目があります。本書「11-11ページ」の科目表を必ず確認してください。

1.8 修了証

必要な単位を修得した学生には主専攻又は副専攻の「修了証」が授与されます。

2. 日本語教員養成課程 開講科目表

表 I-1

【日本語教員養成課程の履修方法】

主専攻…日本語日本文化学科のみ

| 区分 | 必要単位数 | 科目名 | 担当者 | 単位数 | 開講時限 | | 配当年次 | 履修登録科目名 |
|----------|-------|------------------------|------------|-----|------|-----|------|--------------------------|
| | | | | | 春 | 秋 | | |
| 社会・文化・地域 | 4 | 日本の歴史 I | 白石烈 | 2 | 木 4 | | 1・2 | |
| | | 日本の歴史 II | 白石烈 | 2 | | 木 4 | 1・2 | |
| | | 日本のヴィジュアル・イメージ I | 稲本万里子 | 2 | 月 3 | | 2 | |
| | | 日本のヴィジュアル・イメージ II | (本年度開講せず) | 2 | | | 2 | |
| | | メディア社会学 (春) | (本年度開講せず) | 2 | | | 1・2 | |
| | | メディア社会学 (秋) | (本年度開講せず) | 2 | | | 1・2 | |
| | | 近現代文学 I | 中村晋吾 | 2 | 月 1 | | 2 | |
| | | 近現代文学 II | 中村晋吾 | 2 | | 月 1 | 2 | |
| 言語と社会 | 4 | ○日本語教授法特講 | 志賀里美 | 2 | | 金 1 | 3 | |
| | | 異文化コミュニケーション | K. Fujioka | 2 | 月 4 | | 1・2 | |
| | | | 桃井和馬 | 2 | | 月 3 | 1・2 | |
| | | 社会言語学 I | 中川圭子 | 2 | | 月 1 | 3・4 | |
| 言語と心理 | 4 | 日本語学特講 | 川井章弘 | 2 | | 金 4 | 3・4 | |
| | | ○第二言語習得 I | 末田美香子 | 2 | 火 5 | | 2 | |
| | | 第二言語習得 II | (本年度開講せず) | 2 | | | 2 | |
| | | 教育心理学 | Da Silva | 2 | 木 2 | | 3 | |
| 言語と教育 | 14 | ○日本語教育概論 I | 川井章弘 | 2 | | 金 5 | 2 | |
| | | ○日本語教育概論 II | 川井章弘 | 2 | | 金 5 | 2 | |
| | | ○日本語教授法 A(文法・文型教育) | (本年度開講せず) | 2 | | | 3 | 日本語教授法 I (文型教育) |
| | | ○日本語教授法 B(教材・教具 / 評価論) | 島崎英香 | 2 | | 木 1 | 3 | 日本語教授法 II (教材・教具論 / 評価論) |
| | | ○日本語教授法 C (教案作成) | (本年度開講せず) | 2 | | | 3 | 日本語教授法 III (教案作成) |
| | | ○日本語教育実習 I (模擬授業) | 志賀里美 | 2 | 月 3 | | 4 | |
| | | ○日本語教育実習 II (学外実習) | 志賀里美 | 2 | | 火 2 | 4 | |
| 言語 | 20 | ○言語学入門 I | (本年度開講せず) | 2 | | | 1・2 | |
| | | ○日本語学入門 | 志賀里美 | 2 | | 月 4 | 1・2 | |
| | | ○日本語文法 I | 栗田奈美 | 2 | 水 5 | | 2 | |
| | | ○日本語学 III (文型・文法) | (本年度開講せず) | 2 | | | 2 | |
| | | ○日本語学 I (語彙・表記) | 川井章弘 | 2 | | 火 1 | 2 | |
| | | ○日本語文法 II | (本年度開講せず) | 2 | | | 2 | |
| | | ○日本語学 II (音声・音韻) | 川井章弘 | 2 | 月 4 | | 3・4 | |
| | | ○日本語学 IV (言語行動) | (本年度開講せず) | 2 | | | 3・4 | |
| | | ○言語学入門 II | (本年度開講せず) | 2 | | | 1・2 | |
| | | ○認知言語学 | 栗田奈美 | 2 | 火 1 | | 3・4 | |
| | | 対照言語学 | 栗田奈美 | 2 | | 火 1 | 3・4 | |
| 合計 | 46 | | | | | | | |

注1) ○ … 必修

注2) 「日本語教育実習 I」「日本語教育実習 II」は卒業所要単位に含まれない。

表Ⅱ-1

副専攻・・・全学科

| 区分 | 必要単位数 | 科目名 | 担当者 | 単位数 | 開講時限 | | 配当年次 | 履修登録科目名 |
|------------------|-------|--------------------------------|------------|-----|------|----|------|---------------------|
| | | | | | 春 | 秋 | | |
| 言語・社会・文化 | 2 | 異文化コミュニケーション | K. Fujioka | 2 | 月4 | | 1・2 | |
| | | | 桃井和馬 | 2 | | 月3 | 1・2 | |
| | | 近現代文学Ⅰ | 中村晋吾 | 2 | 月1 | | 2 | |
| | | 近現代文学Ⅱ | 中村晋吾 | 2 | 月1 | | 2 | |
| | | 社会言語学Ⅰ | 中川圭子 | 2 | 月1 | | 3・4 | |
| | | 日本語学特講 | 川井章弘 | 2 | 金4 | | 3・4 | |
| | | 日本語教授法特講 | 志賀里美 | 2 | 金1 | | 3 | |
| 言語と心理 | 2 | ○第二言語習得Ⅰ | 末田美香子 | 2 | 火5 | | 2 | |
| | | 第二言語習得Ⅱ (本年度開講せず) | | 2 | | | 2 | |
| 言語と教育 | 14 | 教育心理学 | Da Silva | 2 | 木2 | | 3 | |
| | | ○日本語教育概論Ⅰ | 川井章弘 | 2 | 金5 | | 2 | |
| | | ○日本語教育概論Ⅱ | 川井章弘 | 2 | | 金5 | 2 | |
| | | ○日本語教授法A(文法・文型教育) (本年度開講せず) | | 2 | | | 3 | 日本語教授法Ⅰ(文法・文型教育) |
| | | ○日本語教授法B(教材・教具/評価論) | 島崎英香 | 2 | | 木1 | 3 | 日本語教授法Ⅱ(教材・教具論/評価論) |
| | | ○日本語教授法C(教案作成) (本年度開講せず) | | 2 | | | 3 | 日本語教授法Ⅲ(教案作成) |
| | | ○日本語教育実習Ⅰ副(模擬授業) | 川井章弘 | 2 | 月3 | | 4 | |
| ○日本語教育実習Ⅱ副(学外実習) | 川井章弘 | 2 | | 火2 | 4 | | | |
| 言語 | 10 | ○言語学入門Ⅰ (本年度開講せず) | | 2 | | | 1・2 | |
| | | ○日本語学入門 | 志賀里美 | 2 | | 月4 | 1・2 | |
| | | ○日本語文法Ⅰ | 栗田奈美 | 2 | 水5 | | 2 | |
| | | ○日本語学Ⅲ(文型・文法) (本年度開講せず) | | 2 | | | 2 | |
| | | 選)日本語学Ⅰ(語彙・表記) | 川井章弘 | 2 | | 火1 | 2 | |
| | | 選)日本語文法Ⅱ (本年度開講せず) | | 2 | | | 2 | |
| | | 選)日本語学Ⅱ(音声・音韻) | 川井章弘 | 2 | 月4 | | 2 | |
| | | 選)日本語学Ⅳ(言語行動) (本年度開講せず) | | 2 | | | 3・4 | |
| | | 言語学入門Ⅱ (本年度開講せず) | | 2 | | | 1・2 | |
| | | 認知言語学 | 栗田奈美 | 2 | 火1 | | 3・4 | |
| 対照言語学 | 栗田奈美 | 2 | | 火1 | 3・4 | | | |
| 合計 | 28 | | | | | | | |

注1) ○・・・必修

注2) 選)・・・選択必修科目。この中から最低2単位取得すること。

注3) 「日本語教育実習Ⅰ」「日本語教育実習Ⅱ」は卒業所要単位に含まれない。